追浜あんす道信 Oppama Anzu Press

第18号 2019年11月 発行:特定非営利活動法人 アクションおっぱま

東京湾第三海堡遺構に高校生の団体見学



多賀城高等学校の皆さん

第三海堡遺構の団体見学は、市民団体、地方自治体、大学などからの申し込みが一般的で、どちらかというと年齢層は高めでしたが、今年はこれまでに高校2校の団体見学を受け入れました。

(1)宮城県立多賀城高等学校災害科学科7月11日(木) 24名(教員2名)

多賀城高校は、東日本大震災以降、災害に学び、防災を研究する災害科学科を設置したユニークな高校です。因みに日本で災害・防災関係の学科を有するのは、同校のほか兵庫県舞子高校の環境防災科の2校のみです。第三海堡は、関東大震災で被災したことから見学先に選ばれたとのことで、ほかに見学先として海洋研究開発機構、港湾空港技術研究所のほか、「関東大震災を歩く」とのテーマで横浜まち歩きも含まれていました。



麻布高等学校の皆さん

生徒たちの関心も高く、熱心にガイドの解説 を聞いていました。

(2)私立麻布高等学校

10月18日(金) 48名(教員2名)

よく知られた進学校ですが、社会科見学の一環として、海洋研究開発機構を合わせて見学したいとのことでした。1年生対象の見学で、この期間2、3年生は修学旅行だそうです。

自由な校風ということで、服装もまた自由。見 学態度は真面目で好奇心旺盛、見学場所ではな いアイクル にも興味を持った生徒がいて、探索 のため集合時間を少しオーバーしたようなこと もありました。

これからも高校生の団体見学が増えるかもしれません。若い世代に伝える使命を感じました。 (NPO法人アクションおっぱま理事長 昌子住江)

NPO法人アクションおっぱま 2019年通常総会の報告

2019年6月6日(木)午後2時から、横須賀市追浜行政 センター 2階会議室で、NPO法人アクションおっぱ まの通常総会が開催されました。議決権のある正会員 の総数は40名で、過半数は21名。当日の出席者は29名 (うち8名が書面評決者)で定足数を満たしました。

総会では、まず定款の一部変更が審議されました。法人の発足時には可能な限りの事業名を定款に載せましたが、10年を経て実施可能な範囲もわかり、その現実に合わせたというところです。審議の結果承認された新しい事業名は、①誰でもが地域に住み続けるための地域街づくり・地域活性化に関する事業②地域資源保存・活用に関する事業③街

づくりの人材育成に関する事業の3本で、実際に法 人が取り組んでいる事業は全て含まれます。

総会では、2018年度事業報告書、活動計算書、監査報告、並びに2019年度活動計画書、活動予算書とあわせ、定款の一部変更のため2020年度の事業計画書、活動予算書が審議されました。いずれも満場一致で承認されました。

2018年度事業報告書、活動計算書と2019年度の 事業計画書は、ホームページに掲載されていますの で、いつでもご覧いただけます。また定款の一部変 更は、神奈川県の認証を得たことをご報告します。

(NPO法人アクションおっぱま理事長 昌子住江)

● 追浜とベイスターズ

1997年に追浜球場の改修が完了し、名称を横須賀スタジアムとし、横浜ベイスターズがフランチャイズ球場として使用することになりました。マシンガン打線を有する横浜ベイスターズは、1998年に優勝の快挙を成し遂げた。その後、2000年に二軍の名称を湘南シーレックスとした。当時はメディアが飛びつき、商店街にも取材が殺到しました。二軍の選手のサイン会や小中学校にも選手を呼んだりして、子どもたちとのかかわりも密にしてきました。シーズンパスのチケット販売など請け負いながら協力体制を築いてきました。



商店街としてもこの好機に活性化を図るために、補助金を使いコンサルタントを入れ、1年間かけて追浜のコンセプト作りの「追浜活性化委員会」を立ち上げました。その中でスポーツとバザールのまち追浜というコンセプトのもと、イベントを仕掛け現在のナイトバザールもその中で産声を上げました。

アメリカの大リーグのマイナーリーグを参考にした二軍の名称変更も2010年には終わりを告げ、横浜ベイスターズに統一しました。その後、親会社がマルハからTBS、そして現在のDeNAに代わり2011年に横浜DeNAベイスターズとなりました。





横浜ベイスターズのリーグでの低迷をよそに、親会社は着々と力をつけてきました。そして、一昨年に長浦の練習場の再契約をしないことで、練習場の場所を模索している中で、横須賀市が追浜の地でのラブコールをし、寮を含めた練習場が追浜に完成しました。19年の時を超え、まさに当時のスポーツとバザールのまち追浜が再び現実のものとなりました。この貴重な資源を生かすも殺すも地域の気持ち一つと考えています。今年は京急とベイスターズと地元商店街のコラボでマフラータオルやナップサックを開発しました。今後もベイスターズとともに地域を巻き込み新たなステージへと邁進していけたらと思います。



(NPO法人アクションおっぱま理事 織田俊美)



「守谷ノ間」について

南鷹取在住 蒲谷 諭

鷹取の1丁目に本年7月に開設された「守谷ノ間」 は私の実家です。

古い話になりますが我が家も含め蒲谷姓を名乗 る多くの人々は※鉈切に住んでいました。が、戦時 中の強制疎開で昭和16年に父の出征を待って現在 地に建て替え本年で78年になりました。

父は新居を知らず出征したので、無事生還する知 らせを受け、祖母が毎日追浜駅まで迎えに行きまし たが、6年振りに会った父の姿を発見する事が出来 なかったそうです。

帰宅した父と待っていた家族の尽きない話は想 像のしようもありませんが、そうした初期の出来事 や家族との諸々の想い出の詰まった家が当時のま まではありませんが未だ多く残されています。

私と弟で引き継ぎましたが…家を取壊して土地を 売却するのは亡き人達に申し訳ないような思いで悩 んでいるときに「アクションおっぱま」の空き家プロ ジェクトの記事を偶然見付けました。

その後、紆余曲折を経て地域の方々の催しの場と して、一部は関東学院大学さんの学生の住まいとし て、複合的な施設としての使用方法を提案され迷う ことなく賛同しお受けいたしました。

個人にお貸しするより、横須賀市の「谷戸プロジェ クト」からの支援もあり、微力ではありますが地域に 対しての社会貢献も出来ると思ったからです。

リフォームも終了し、「守谷ノ間」と命名された 実家は10月から徐々にですが活用が開始されたこ とを嬉しく思います。

5年の期間限定ではありますが、今後活発に活 用され末永く愛される施設として存続することを 願っております。



◀改修前



※鉈切:現在の浦郷地区で具体的には㈱オカムラ (なお、敷地内には蒲の冠者源範頼の匿われたと 云う洞窟←伝説です…が昭和40年代初期まで存 在しましたが、工場拡張のため発掘調査の後取壊 され今はありません)の辺りに住いが有ったそう です。

十数年前?まで、日産自動車さんの「日産鉈切 寮」の看板が「日産前のバス停」付近に「鉈切」の名 称が残っていたと記憶がありますが残念ながら 消滅してしまいました。

● ら・ぶ・いん おっぱま ●

里親花壇

湘南鷹取在住 関 昭博

私が里親花壇に着手した動機は次のようなこと からです。通勤等で日々利用している生活道路の斜 面地側の見苦しさでした。

約100mのその道路敷きは、夏は草ぼうぼうで空 き缶・空きビンのポイ捨て。秋から冬はタバコのポ イ捨てによる火災の心配。

これらを何とか解決できないかと思うが当時の 私は両隣以外の知人はおりませんでした。その後、 平成20年に私が自治会長になり状況が変わりまし た。私の思いを話したら同じような思いを持ってい る方が何人かおり協力を申し出てくれました。それ から市の土地にどうしたら手を加えることができ るかを調べました。

横須賀市では、道路敷き等の公共用地を利用する には「まちかど里親制度」を利用するとよいとのこ とでした(まちかど里親制度とは、市民のグループ 等が公園・道路・河川・水道用地その他の公共用 地を親代わりになって清掃・除草などを行い市が それを支援する制度)。

そこで、市民生活課に行き、「まちかど里親制度」

導入を決めました。

そして平成21年3月に「湘南鷹取のみどりと環境 を守る会」が発足しました。

まずは発起人9名で道路敷きの除草と荒れ地の手 入れを目的として毎週火曜日に集合する旨を確認 してスタートしました。

花は従来から群生していた水仙しかありません でした。まずは知人をたより花集めでした。徐々に 里親の仲間も増え、町内からもいろいろと助勢し てくださる方も出てきました。助勢の決定打は何と いっても花章根本さんでした(西友鷹取店の隣接地 で花店を経営)。

少し古くなり売れなくなった花を何十鉢も月に 数回運んでくれています。古くなった鉢植えの花も 地植えすると見違えるほど元気になります。10年経 過した現在では、春夏秋冬で約300種類の花を楽し めるようになりました。地域の皆様の協力と18名の 会員の地道な作業の継続が素晴らしい花壇とポイ 捨てをさせない環境を作り、初期の目的を達成する ことが出来ました。

ちなみに 私たち「みどりと環境を守る会」は昨 年11月クリーン横須賀中央大会で活動報告を発表 する機会あり好評でした。

貝山地下壕ガイド養成講座について

横須賀市では、今後の貝山地下壕公開に向けてガイド の養成講座を実施します。

貝山地下壕の公開にあたっては、ガイド同伴のみの入 壕となります。

ガイドは、養成講座の受講者に資格を与え、無資格での 入壕は認めないとのことで、今年度のガイド養成講座の 日程と募集について、下記に要点を掲載します。詳しくは 横須賀市公園課のホームページをご参照ください。

https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4130/kouen/kaiyamagaido.html なお、ガイドについては、追浜のまちづくりの一環とし

て行われること、および入壕人数の把握など連絡調整が 必要なことなどから、原則としてガイド団体の活動が中 心になるとしています。

NPO法人アクションおっぱまはガイド団体として認定 されていますので、会員の方で貝山地下壕のガイドとして 活動したいと思われる方、ガイド講座受講を希望される方 はNPO法人アクションおっぱまの事務局までご連絡くだ さい。一般募集と別枠での受講が可能となります。

Email: info@action-oppama.org 電話·FAX 046-866-2790 講座カリキュラムは下記の通りです。

令和元年度 貝山地下壕ガイド養成講座カリキュラム

日程	名 称	講師	講義時間
【第1回】1月 9日(木)	開講式・事務連絡 追浜地区の歴史について	公園管理課長/公園管理課職員 青木様	18:00 ~ 18:15 18:15 ~ 20:25
【第2回】1月16日(木)	第1講義 追浜のイベントや観光について 第2講義 貝山緑地と周辺の歴史について	追浜行政センター福本副館長 大長様	18:00 ~ 18:15 18:15 ~ 20:25
【第3回】1月30日(木)	貝山地下壕について	地盤工学会 大里様	18:00 ~ 20:10
【第4回】2月20日(木)	貝山地下壕の地質について	横浜国立大学 間嶋様	18:00 ~ 20:10
【第5回】2月27日(木)	第三海堡(東京湾海堡)について	晶子様	18:00 ~ 20:10
【第6回】3月 5日(木)	地下壕ガイドについて	日吉台地下壕保存の会 喜田様	18:00 ~ 20:10
【第7回】3月14日(土)	現地実習 フィールドワーク (弁当持参) ガイド実践と効果測定 (雨天決行)	青木様 公園管理課長	9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 16:00

会場:第1回~第6回=追浜行政センター会議室 第7回=現地

※地下壕内に入壕したことのない受講者は、事前に現地確認(市帯同)を行うことも可能



アクションおっぱまの 事務所は引っ越しました!

この度、法人の事務所が引っ越しました。場所は 「守谷ノ間 | です。これまでお借りしていた事務所 が閉鎖されるための移転です。

[守谷ノ間]については、所有者の蒲谷様からご 寄稿いただいておりますので、ぜひお読み下さい。

ここは、関東学院大学が、地域社会との連携を通 じた現場体験型学習(アクティブ・ラーニング)の 場として整備・運営をおこなっており、地域連携 の一環として、NPO法人アクションおっぱまが 活動拠点として使用することを認めていただきま した。従いまして、アクションおっぱまの法人とし ての住所、電話・ファックス番号は変わりません。 なお、守谷ノ間は、横須賀市鷹取1丁目9-19です。

事務局は常駐しておりませんので、御用の際に はメール等でお問い合わせください。今後ともよ ろしくお願いいたします。

追浜あんず通信18号 2019年11月発行

発 行 特定非営利活動法人アクションおっぱま 発行人 昌子住江

編 集 NPO法人アクションおっぱま編集委員会

深浦湾 ワカメの種付け

12月7日輯10時~12時頃まで (集合は9時30分)

予備日12月8日 (ワカメの成長が遅かった場合のみ)

3.000円/グループ・ (1グループ4人まで)

※2月の刈り取りで持ち帰るワカメは 参加費に含まれます。



編集後記

- ●気候の変動の激しい昨今皆様お元気ですか。追浜で も地球温暖化の問題は考えて行きたいですね。SDGS を ぜひ考えて欲しいです。 (吉田洋子)
- ●関東学院大学と協力している空き家プロジェクトで すが、再生・活用される例が「守谷ノ間」で3軒目と なりました。学生のシェアハウスや大学と地域の連携 によるさまざまな活動など、ここでは図らずも当法人 も加わることとなりましたが、今後の展開が楽しみ です。
- ●今年は予測不可能な災害の多い一年でした。地球は 大きな生き物です。その一部を間借りしている人類は、 大家さんである地球に対してもっと礼儀を尽くすべき ですね。被災された方々のご苦労へ心よりお見舞しいし たします。 (河村啓子)